

## 案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ネパール国
2. 案件名	地方行政アクセス能力強化を通じて、ジャガイモとキウイの名産品化をめざすネパール山村生計向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ネパールは 2015 年の大地震の影響もあり、経済が低迷し都市部への移住者や海外への出稼ぎ者が大量に発生している。特に山間部からの人口流出は顕著であり、過疎化が進んでいる。地元への定住には、現金収入の増加、道路・水道などの生活基礎インフラの整備等が必要である。 実施団体は、ミャグディ郡ラムチェ及びティコット集落において現地踏査と住民への聞き取り調査を行った。その結果、上記課題の解決に向けて、住民に対する農業会計簿の記帳方法の研修、キウイ栽培やジャガイモの品質向上による生計向上、地方自治体による補助金活用のための申請サポートが有効と分析し、これらを支援するために本事業を提案した。
4. プロジェクト目標	地方行政の補助金制度へのアクセス能力及びジャガイモとキウイの栽培・販売技術の向上を通じて、住民の自立的な生計向上活動が持続する
5. 対象地域	ネパール国ガンダキ州ミャグディ郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	アンナプルナ村ラムチェ集落及びティコット集落の住民（約 240 人）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	成果 1：住民が農業会計簿をつける習慣を身につける 成果 2：住民が村レベルの農業補助金を申請するスキルを習得する 成果 3：住民がジャガイモとキウイの栽培・販売の知識・技術を習得して適切な対処ができるようになる  活動 1-1：ラムチェとティコットで住民によるグループを組織する 1-2：グループに農業会計簿記帳研修を行う 1-3：グループに農業会計簿記帳研修のフォローアップを行う 1-4：グループに農業会計簿記帳リフレッシュ研修を行う  活動 2-1：グループによる「住みたい集落」造りの計画策定を支援する 2-2：グループの住民による地方行政の補助金の申請書作成を支援する 2-3：グループの住民による地方行政への補助金申請を支援する  活動 3-1：グループにジャガイモの病害対策研修を行う 3-2：グループに収穫期が近づいたキウイの栽培技術研修を行う 3-3：グループの代表による果樹の市場調査実施を支援する 3-4：市場調査に基づきグループの新規キウイ生産計画策定を支援する 3-5：キウイ植栽研修を行い、苗木・資材を購入し、一部住民を対象に新規の植栽をパイロット的に実施する 3-6：上記結果を踏まえ、キウイの新規植栽を本格的に実施する。 3-7：ジャガイモとキウイの栽培管理、栽培技術フォローアップを実施する  活動 4-1：活動のモニタリングを定期的実施する 4-2：参加型モニタリング・評価手法 MSC ワークショップを開催する
8. 実施期間	2023 年 10 月～2025 年 10 月（計 24 カ月）
9. 事業費概算額	10,222 千円
10. 現地カウンターパート	ヒマラヤ保全協会ネパール (The Institute for Himalayan Conservation - Nepal : IHCN)
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人参加型評価センター
2. 活動内容	プロジェクトや組織の参加型マネジメント（計画、モニタリング・評価）を専門として、1）評価支援・コンサルティング、2）研修講師・ファシリテーション、3）プロジェクトを実施する。